

新発田市役所・新庁舎の建設をバネに 未来の新発田の子どもたちのために 賑わい創出・中心市街地の活性化を目指す

平成23年8月19日(金)の臨時市議会で、新庁舎建設場所が、「地域交流センター駐車場」に決まった。賛成18対反対8であった。その後10月20日(木)から、議会では総務常任委員会での新庁舎の持つべき機能についての審議が始まった。

災害多発時代を迎え、防災拠点となる市庁舎は可能な限り早く建設されるべきである。ゲリラ豪雨などに加え、新発田は月岡断層と櫛形断層と、二つの活断層を持つ。地震空白域となっており、いつ災害が起きても不思議ではないのである。

片山前市長時代からの五つの課題、駅橋上化は選挙戦での民意をへんで中止、学校の耐震化は前倒しで発注、し尿等下水道投入施設は順調に進んで工事に着手、旧新発田病院跡地も解体に向けて県が土壌調査中。そして新庁舎は議会での特別委員会の報告を経ての議論、全世帯アンケートの実施、策定委員会の答申を経て、最終的に議会で可決・決着した今、30年50年の長いスパンでより良い市政と中心市街地の再生・発展に新庁舎が資することができるかが、今後の課題となる。

この間、特に建設場所については、平成21年の議会での特別委員会発足以来、本会議報告まで28回の会議、総務常任委員会での会議、策定委員会では22、23年度にかけて6回の会議と答申、全世帯アンケートと十分な手順を踏みながら、議会では建設位置についてはなかなか結論が出ず、最終的にはそれを勧告した上で、市長提案を議会が可決承認するかなどとなり、建設位置を「地域交流セ

ンター駐車場」と決定したが、その大きな理由が「交通の結節点であり利便性が高く、まちの賑わい創出につながる」という、将来を見すえたものであったからである。新庁舎を中心に、どう街の賑わいを創出していくのか、われわれ市民の「市民力」が問われているのである。

本紙としては、建設場所が決まったことを受け、今後の課題に踏み込む前に、議会審議や策定委員会審議、全世帯アンケートの結果を一度、検証することにした。可能な限り時系列で追いかけてみた。

市議会特別委員会では 建設場所の特定に至らず

新発田市議会市庁舎建設調査特別委員会
平成21年3月市議会本会議による設置
委員長・稲垣重士雄議員
副委員長・宮崎善男議員
委員はすべて新発田市議会議員

●22年6月28日/市議会定例会中間報告

平成21年5月15日に市平俊明総務部長より具体的検討を始めた経緯を聴取(平成3年度から本格検討、新庁舎建設は必要との結論。庁舎老朽化に伴う耐震性への不安、町村合併による分庁化による市民サービスの低下、情報化に伴う機器の増加などがその理由。平成4年度から建設基金設置との報告)。

その後、妙高市・新井市・長岡市・燕市などに大府市・大山市などを視察する。老朽化・耐震性などが新庁舎建設の契機と指摘した

上、長岡市では「中心商店街の賑わい創出」高齢化に伴う交通弱者の増大などに配慮して、長岡駅近くの旧厚生会館跡地への建設決定や機能としてはワンストップサービス(一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービス方法)に言及している。その後、新発田市の新庁舎建設場所を「現庁舎周辺」として意見集約したものの、広く意見を聞くとしてアンケート等を実施し、意見集約中としている。

●23年3月22日/市議会定例会最終報告

57団体、個人34人から意見聴取、望ましい建設位置として現庁舎周辺77(新発田病院跡、商工会議所を含むおおむね現庁舎周辺、中央高校グラウンド跡、図書館駐車場、地域交流センター駐車場、特定しないが市の中心地など)、現庁舎周辺以外16(新発田駅周辺、カルチャーセンターなど)の回答を得たとしているが、この時点で、特別委員会は建設位置については特定していない。機能としては、ワンストップサービスなど市民が利用しやすいことをまず最初にあげている。

議場については、可能な限り簡素化を図ることや委員会審議も情報発信できる仕組みが必要と、情報公開の重要性を指摘していることは、以前制定した議会基本条例にもつづいてのことであり、評価されるべきだ。

策定委員会では 地域交流センター 駐車場を答申

新庁舎建設基本構想策定委員会

平成22年4月片山前市長の委嘱で設置
委員長・相澤順一
副委員長・野口政男
委員は公募委員3名を含む15名

●22年4月27日/22年度第1回会議

片山前市長より「市民の安全を守る」「要」市民のオアシスとして実用的で利便性ある庁舎、新庁舎の位置は「現庁舎周辺」が最適」としたうえで、「英知を結集した構想を策定してほしい」旨、挨拶があった。これを受け、構想案策定に入った。

分散化に伴うサービスの低下という問題については、「分散化していても不便はない」「合併地域の住民にとっては分散化のほうがよい等の意見が出された。これらの意見は機能の本庁集中化案から、支所活用案への転換のきっかけとなるもので、最終的には「既存施設を活用し、段階的に集約を図る」という文言になっている。これは議会でも同様の意見が多く出された。8月19日の臨時会では、宮島信人議員・加藤和雄議員らが支所の存続または強化について意見を述べている。

●22年8月10日/22年度第2回会議

第1回会議を受けて、新庁舎の位置・規模・事業費等を協議。位置については「現庁舎周辺が適地」ほか、「基本的な考え方をまとめた後に、位置や規模を決めるのが普通」他の場所をいろいろ検討した上で結論を出すべき」等、異論も多く出された。

●22年9月1日/22年度第3回会議

「短くまとめられた新発田らしい全体コンセプトが必要」との意見が出された。

●22年10月19日/22年度第4回会議

前回会議を受けて全体コンセプトを「やさしさ」と「質実剛健」を兼ね備えた機能的な庁舎」とすることとし、委員長から「市の説明では次の段階である基本計画にかかわる部分が多い。委員会としてまとめるにはまだ議論が必要であり、片山市長が返任することもあり、理念の部分をもとめて一旦構想として」との提案があり、承認される。

●22年11月8日/22年度第5回会議

基本構想案の確認が行われた。

*

以上の経過によって答申された内容は、現庁舎の問題点として①老朽化、②狭あい

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長畑 284-1 TEL.0254-23-6851
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	篠田労務管理事務所 新発田市新富町 1-5-9 TEL.0254-22-5649
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011
SODデザイン 高橋智志 新発田市新富町 1-1-3 ストライビル2階 TEL.0254-24-5121	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	新潟ファームサービス(株) 新発田市五十公野 4104-1 TEL.0254-20-3828
(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	(社)陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字鳥越 4666-1 TEL.0254-28-5136
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700

(株)ワゴードライ 新発田市佐々木 3445
TEL.0254-27-2261

協賛広告出稿者を募集しています!

創刊号で書いた通り、本紙は「新発田の発展につながるような検証記事や新発田での暮らしが楽しくなるような記事を掲載」します。費用はすべて広告費でまかなっています。

協賛広告の広告のお申し込みは、
☎090-2733-3568(阿部)まで。

あんこう料理
割烹旅館 多奈可や

美味・珍味
「あんこう」は冬の風物詩

新発田市稲荷岡 2066
☎0254-41-2013



はな やす

葬儀 花安 新発田斎場

24時間受付

■斎場 / 新潟県新発田市荒町 1521 ■仏事センター / 新潟県新発田市荒町 1490

TEL (0254) 22-1320 FAX (0254) 24-5156



化(狭くなったこと)③耐震性、④バリアフリー、⑤情報化への対応、⑥駐車場不足をあげ、27年度末までの建設を提言している。基本方針としては①市民の安心安全を暮らしを支える拠点となる庁舎、②バリアフリーなど人にやさしい庁舎、③環境と共生し周辺と調和した庁舎、④機能的な庁舎、⑤市民協働の拠点となる庁舎、⑥将来の変化に対応できる庁舎の経済的な庁舎をあげている。22年度の会議はこれまでである。平成23年3月15日に予定されていた第6回会議は東日本大震災の影響で中止となった。

*

●23年5月31日/23年度第1回会議

全世帯アンケートの集計の後、「委員会」の皆様の意見を踏まえて議会にも議論をお願いしたい」という二階堂新市長の挨拶を受けて、「建設地と付帯意見について一定の方向を出したい(委員長)」として行われた。委員メンバーは前年度と同様である。

委員一人ひとりが、建設候補地を選定その理由と解決すべき課題を述べ、議論した。出席11名(委員は15名でこの日は欠席3名・途中退席1名)のうち10名が地域交流センター駐車場を、1名が現庁舎・図書館敷地とした。答申は、建設地を地域交流センター駐車場とし、理由として①街の中心地で、活性化に資する②交通の結節点で利便性が高い③費用面で有効の3点をあげている。課題としては①駐車場の確保②交通渋滞の課題③災害時の拠点性をあげ、「課題解決に最大限の努力をして頂きたい」と申し添えている。

なお、前段で新発田商工会議所およびFMしばたから新庁舎にビルトインしたいとの要望が出されていること、商店街から各商店街連名で「地域交流センター敷地に整備いただきたい」旨の要望書が出されていることが確認された。

また、ある委員からアンケート回収率が17%台だったことをあげて「新庁舎に(あまの興味がないのかな)アンケート回収率

クだった。ただ、事務局から民意として成り立つことと納得したのですが、少し残念に思う」との発言があった。後日、アンケート設問内容等は別として事務方として広報等、回収努力が足りなかったのではとの指摘もあった。

*

今回の会議は市が行った全世帯アンケート、現庁舎・図書館敷地、地域交流センター駐車場、中央高校グラウンド跡地へのそれぞれの評価を参考に行われたものだが、個々の意見は大変興味深い。会議の詳細は市ホームページで見ることが出来る。

●23年9月13日/23年度第2回会議

基本計画(案)の新庁舎の整備方針まで質疑・意見交換が行われた。

●23年10月5日/23年度第3回会議

前回会議で提示した「基本計画検討表」を基に、新庁舎の規模、事業計画、課題について、協議が進められた。修正内容が確認され、基本計画(案)は10月24日、市に提出された。

全世帯アンケートは建設位置決定の有効な判断材料

新発田市新庁舎建設に関する全世帯アンケート

- 配布/平成23年4月15日「広報しばた」回収/同年5月10日迄到着分回答ハガキ
- ・配布数 34,260
- ・有効回答数 5,953
- ・有効回答率 17.4%

「具体的建設位置を決定する判断材料とする」ため、新発田市全世帯に配布、回収された。これは二階堂市長が「選挙で市民の皆様方の意向調査をさせて頂くと訴えて頂いて頂いた」と、公約を実行する意味でも、またもう一度市民の声をより広く聞き、決定の参考にしたいとして実施したものである。

候補地の基準は、これまでの議論を踏まえ①中心市街地活性化基本計画に示す「中心市街地」エリアであること、②庁舎・駐車場敷地がおおむね5,000㎡以上あることとした。

なお、以前に候補にあがっていた「カルチャーセンター駐車場」は都市公園であり、公園以外の施設建設が法的に不可能であること、「新発田病院跡地」は市民(県立新発田病院跡地活用市民検討委員会)の参画を得ながら検討を進めた結果、防災機能を合わせ持った公園として整備することになったため、除外された。

*

アンケートは単純に「人気投票」とするものではなく、①交通利便性、②費用、③使いやすさ(駐車場含む)、④活性化の4点からそれぞれの場所を選ぶ方式で行われた。

「問5 新庁舎の建設位置を決めるにあたって、①～④のどの要素を最も重視しますか」の結果

	現庁舎・図書館敷地	地域交流センター駐車場	中央高校グラウンド跡地	合計
全体	1,616 28.1%	2,112 36.8%	2,018 35.1%	5,746
①交通利便性	682 40.5%	693 41.1%	311 18.4%	1,686
②建設にかかる費用	48 8.0%	398 66.6%	152 25.2%	598
③使いやすさ(形状や駐車場)	656 28.5%	237 10.3%	1,406 61.2%	2,299
④市全体の活性化	230 19.8%	784 67.4%	149 12.8%	1,163

※無回答のものは除外。※枠内上段回答数・下段割合。

ここでは「問5 新庁舎の建設位置を決めるにあたって①～④までの要素を最も重視しますか」を取り上げる。「最もわかりやすい」(青木泰俊議員・7月8日総務常任委員会)からである。その結果、使いやすさで中央高校跡地が第1位、その他の3項目で地域交流センターが第1位となった。

各項目の合計は上段の表の通りである。合計で見ると、第1位は交流センター駐車場で36.8%、第2位が中央高校グラウンド跡地で35.1%、第3位が現庁舎・図書館敷地で28.1%、いずれも過半数には達せず、その差も大きくはなく、特に1位と2位の差はわずか1.7%である。

*

なお、議会などでは回収率が低いとして問題視する意見もあったが、統計学的には十分信頼に値する回答数である。

一般的な必要サンプル数の求め方

$$n = N / \{ (\epsilon / \mu(\alpha))^2 \times \{ (N-1) / \rho(1-\rho) \} + 1 \}$$

- n: 必要サンプル数
- $\mu(\alpha)$: 信頼度 $100 - \alpha$ のときの正規分布の値、信頼度が高いほど高い
通常は信頼度 95% の 1.96 か、信頼度 99% の 2.58 を使う
- N: 調査したい母集団の大きさ
- ϵ : 精度
- ρ : 母比率 (経験的に求めるか、最も n が大きくなる 0.5 を使う)

信頼度を 95% とすると、 $\mu(\alpha) = 1.96$ となる。精度を上下 3% とする。母比率 $\rho = 0.5$ とする。新発田市の人口を 10 万人として計算すると、以下の通り。

$$\text{必要サンプル数} = 100,000 / \{ (0.03 / 1.96)^2 \times \{ (99,999) / (0.25) \} + 1 \} = 1,056 \text{ 人}$$

新発田市の人口を仮に 10 万人として計算すると、必要サンプル数は 1,056 人となる。これは上下 3% の誤差範囲を、95% の確かで求めることができるサンプル数である。ちなみに新聞・テレビ等で行う世論調査は無作為抽出でおおむね 2,000、視聴率調査は関東・関西とも 6,000 程度。

「おいしい米粉レシピ」発売中!!

吉田育子 著

春夏

おいしい米粉レシピ Komeko Recipe

定価 1600円 (本体1524円+税)

カンタン美味しいレシピ 27品

大判だから見やすい (20cm x 22.5cm)

米粉コラム付き!

新潟調理師専門学校 校長 吉田育子

日本人の主食であるお米を毎日食べてほしい、そんな思いからこの本がうまれました。米粉は特徴を生かせば、いろいろな料理に幅広く使い、おいしく簡単に調理できます。家庭ではまだまだ使ったことがない主婦の方も必見です。お米、米粉の意外な美味しさに出会えると思います。

▼本についてのお問い合わせ・お申し込みはこちらまで 送料無料

新潟調理師専門学校 TEL 025-244-2161 FAX 025-247-7928

〒950-0906 新潟市中央区東幸町 8-8

「お歳暮特集」 12月3日(土)~12月11日(日)

坂井ファームフーズさんによる「餅つき実演」 12月3日(土) 11時頃より ※約100人分試食あり

とんとん市場オススメのお歳暮「ルレクチェ」が旬! ・2kg箱 2,500円~ ・4kg箱 5,000円~

他、新興梨 5kg箱 1,800円~、りんご 5kg箱 2,500円~、スーパー促成「越後姫」1パック 800円~

直売所甲子園 2011 11/16・11/17開催 (主催: 全国直売所研究会)

とんとん市場 新発田店が「優秀賞」を受賞!

農家の直売所 とんとん市場

あさ 9:00~よる 6:00 新発田市荒町 1480 ☎0254-20-2229

とんとん市場 検索

民意を代表する市議会では 賛成18対反対8で 地域交流センター駐車場に決まる

市議会

市議会での議論は平成23年6月13日の総務常任委員会（渡部良一委員長）での会議から本格化する。議論の進め方については「要するに場所を決めなさいだめだ」（川崎孝一委員）という点からスタートした。その際重視されるべきは民意であり、全世帯アンケート結果、特別委員会、策定委員会の議論の経緯を確認した上、一か所に集約するのではなく、多数意見とB案、C案もあつたという形で集約することが確認された。

●23年6月21日／総務常任委員会

付帯案件審査として、市長からの経過説明と質疑応答。

●23年6月29日／総務常任委員会

主に日程と進め方についての審議。

●23年7月8日／総務常任委員会

策定委員会の相澤委員長から新庁舎建設位置決定について、調査特別委員会の稲垣富士雄委員長から特別委員会での審議経過と集約等について聴取が行われた。

この中で策定委員会の吉原悠博委員が交通渋滞や駐車場の課題解決に関して、デザインサイネージ（新潟市では導入済み）、パブリックトランスポートーションという仕組みを紹介すると共に、「20年後、30年後我々がいないようになった将来に、この市役所はどうあるべきか」という基本的なあるべきスタンスについて話しているのは重要である。また、神田敏一委員は建築の専門家としての立場から、現庁舎・図書館駐車場を「選ばなかったデメリットとして2棟建てになることをあげ、中央高校グラウンド跡地を「選ばなかった理由として、住宅専用地域である」とをあげている。

調査特別委員会の稲垣富士雄委員長は全

世帯アンケートの取り方に対して疑義を投げかけている。ただ「交流センター、中央高校に関しては、その3カ所名義の中ではまったく知らないうちに出てきた」との発言は、交流センター、中央高校とも、自ら2月定例会で名前をあげて報告しているの事実と異なるのではないかと。また、特別委員会建設位置を特定する形で集約しなかった理由等についても説明している。

●23年8月2日・5日／会派正副会長会議
建設場所については、各会派・議員個人でも統一した結論は出ず、8月12日の議会運営委員会に市長の出席を要請、説明を求めることになった。

●23年8月12日／議会運営委員会

議会での正式な提案前に市長から「地域交流センター駐車場」案の意思表示がなされた。

●23年8月19日／臨時会および総務常任委員会

市長は第37号議案として、地域交流センター駐車場を建設位置とすることを前提に、測量費等の補正予算の提案を行った。位置決定の理由については、策定委員会でも決めた手となった交通の便の良さや利便性をあげ、賑わい創出と活性化、特に将来に向けての観光開発という視点から市街地全体のゾーニングを考へて、地域交流センター駐車場が最適であると述べた。これは将来のまちづくり全体からの位置選定という考え方が特徴的に表れている点である。

総括質疑では、渋滞の問題については外・

中環状線の27年度の完成により中心部の交通量が減ること、駐車場の問題に関しては現在の利用台数など、具体的な数字をあげて解決可能と答弁している。

その後、第37号議案は総務文教委員会（渡部良一委員長）に付託された。

防災対策としては十分な耐震性を持たせ災害時の災害対応の拠点とする。駐車場必要台数は100台程度（1時間当たり平均現庁舎82台、地域交流センター14台、旧ハヤカビルは建設の支障とならず購入しない、交通渋滞対策としては27年度の外、中環状線の開通により解消、交差点改良や出入口の工夫（複数出入口・駐車場の一方通行化など）で緩和等の答弁を得て、挙手多数で可決された。その後、臨時会本会議での討論を経て、起立多数（賛成18対反対8）で本会議でも可決された。

なお、10月に配布された「新庁舎を考える市民の会（松永榮文会長）のチラシに「地域交流センターを取り壊さなければ、目的になかった新しい庁舎は建設できません」とあるが、7階建てにすれば他の候補地同様、1万2千㎡（国土交通省基準）を確保できるため、新庁舎建設のために地域交流センターを取り壊すことはないとのこと。

また、災害時、対策本部が新庁舎内に立ち上がるにしても、最も連携・協力体制を組まなくてはならない自衛隊、警察は至近距離にあり、外部から対策本部への派遣要員は限られた人数にとどまり、物資等は今回の東日本大震災同様、カルチャーセンターやサンビレッジあるいはコメリ等に集積・配送されること、通信の遮断以外、本部機能がマヒすることは考えにくい。その意味では十分な耐震性や電源の確保、複数チャンネルの通信施設等が整備された新庁舎を一刻も早く建設すべきである。中越沖地震で、あれほど早く復旧・復興できたのは庁舎およびコンピュータが無傷で、さらに通信施設もきちんとしていたからである。一方、山古志の場合は役場が通信不能となり、結果取り残されてしまった。

今回の南三陸や雄勝も同様である。前述の雄勝町船越では陸路、救援隊が入ったのは被災の2週間後だそう。その間、余震と津波におびえて、人々は雪の降る中、着のままで真山に逃げ込んだという。着のままで真山に逃げ込んだという。着のままで真山に逃げ込んだという。

災害に強い新庁舎を一刻も早く建設すべきである。石巻市雄勝町の中里孝一さんは言った。「千年に一度の災害と言いが、その千年は明日かもしれない」のだから。

今後の課題は「賑わい創出」「活性化」だ

時系列的にみると、近頃市市長・片山忠吉前市長時代から、約20年にわたって新庁舎建設問題が研究・議論され審議が尽くされてきたことが分かる。しかし、ここ半年余りは「建設位置」がクローズアップされる余り、ある策定委員が発言していた通り本来「基本的な考え方をまとめた後に、位置や規模を決めるのが普通」なのに、その陰がやや薄くなっているのではないかと。市政の最高議決機関の十分な審議を経て「建設位置」が決定し、10月には「新庁舎建設基本計画（案）」が示された以上、今後は将来に向かって、具体的に市民が望む「使い勝手のよさ」を実現し、市長の言う「賑わい創出」「活性化」を図るべきである。

長岡市は当市に先立って、24年4月、街のど真ん中に市役所とアリーナ・市民交流施設・屋根付き広場が一体となった複合施設「アオーレ長岡」をオープンさせる。あらゆる世代の多様な自発的な活動を実現する場として『市民交流の拠点』を目指しているという。「コンセプトは「賑わい創出」まちなか回帰」で、地上4階・地下1階、駐車場120台、事業費は13.8億円と桁違いが、目指すところは同じである。

佐藤真澄議員が指摘する通り（8月19日臨時会）、活性化は言うは易し行は難しだとしても、未来の新発田の発展のためには避けては通れない道だ。その実現に向けて商店街はもちろん、行政のみならず市民一人ひとりが何をなすべきか、前向きに考え行動すべきである。

行動すべきである。

中古リユース業界日本最大級!
めざせ1,000店舗!!
ハードオフグループはリユースを通じて循環型社会に貢献してまいります

全国 662店舗
平成23年10月末現在

お売下さい

HARD-OFF ノートパソコン・アンブ・スピーカー・ギター・キーボード・液晶テレビ・DVDデッキ・DVDソフト・デジタルカメラ・ゲームソフト・カーグッズ・プラモデル など 新発田店/TEL (0254) 22-1755	OFF HOUSE ブランド品&アクセサリ・テーブル・イス・インテリア照明・ギフト・レディース&メンズ・子供服・冷蔵庫・洗濯機・掃除機・スポーツ・アウトドア・生活雑貨・ホビー など 新発田店/TEL (0254) 23-7877	Garage Off アンブ・スピーカー・ナビ・ステアリング・スポーツシート・工具・エアロパーツ・マフラー・タイヤ・アルミホイール・専門月刊誌・ラジコン・ミニカー・プラモデル・自転車 など 新発田店/TEL (0254) 26-2510
Hobby Off 食玩・カプセルトイ・年代物玩具・ミニカー・カード・Nゲージ・スケールプラモデル・ラジコン・ノベルティ・フィギュア・超合金・TVゲーム各種本体・ゲームソフト など 新発田店/TEL (0254) 20-5450	BOOK-OFF 読み終わった本（コミック・活字本・月刊誌など）・CD・DVD・ゲームソフト など 新発田店/TEL (0254) 26-6300	お店情報を ケータイでチェック!! 携帯用ホームページアドレス http://www.hardoff.co.jp/

営業時間 / AM10:00~PM8:00
ブックオフ新発田店のみ AM10:00~PM10:00
◆お客様相談室 / TEL.0254-23-6102 (受付時間/水曜日を除く10:00~19:00) ※出張買い取りについては各店舗までお問い合わせ下さい。

SWビル ソフトウェアビル 1F・3F
1F:59坪 3F:28坪
テナント募集
新潟県新発田市住吉町5丁目12-22
お問い合わせ TEL.0254-24-4343 山本

= 新潟日報創刊 70 周年記念 =
史佳 Fumi Yoshi
三味線新世代スーパーライブ 2012

心の旅
-未来へ-

この日の為に創り上げた新曲「桃花鳥-toki-」、「宇宙の花」を地元新潟にて世界初公開!!

出演：小林史佳(三味線) 長岡成貢(作曲家・ピアノ/シンセサイザー)
ゲスト：美咲(シンガー)、庄司 愛(ヴァイオリン)

2012年 12月11日(土) 午後1時開演 (午後12時30分開場)

りゅうとびあ・コンサートホール

前売券 3000円 全席自由 (当日3500円)

お問合せ・チケット予約 / 新潟日報社企画事業部 新潟市西区善久 772-2 TEL.025-378-9266 (平日 9:30~17:30)

主催 新潟日报社
協力 (株)新潟グランドホテル (株)廣瀬 ベルフーズ(株)新潟高橋竹山会
衣装協力 KIMONO 紫藤尚世(しとう ひさよ)

プレイガイド 新潟日報・りゅうとびあ・新潟伊勢丹・古町サテライト・文信堂 CoCoLo 本館(新潟駅ビル内)・トップトラベル新潟(デッキイ401内)・セブン-イレブン ※NIC 新潟日報販売店で取寄せ可能